

拠出金名: 国際連合人権高等弁務官事務所拠出金

国際機関等名	国連人権高等弁務官事務所 (英文名称・略称) United Nations Office of High Commissioner for Human Rights(OHCHR)					
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他		
所轄官庁担当局課名	外務省総合政策局人権人道課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外 貨1 (千ドル)	外 貨2 (千 )	レ ー ト		
平成17年度	17,804	166		1\$ = 107 円	(2005年) 0.278	100
平成16年度	18,304	166		1\$ = 110 円	(2004年) 0.304	100
平成15年度	32,051	263		1\$ = 122 円	(2003年) 0.554	100
拠出上位5ヶ国				国際機関等の財政 (2005年度決算)		
	国 名	金額(千ドル)	率(%)	当該年度の収入 68,215,113ドル		
1位	米国	11,032	14.9	当該年度の支出 62,437,989ドル		
2位	欧州委員会	9,581	12.9	次年度への繰越 5,777,124ドル		
3位	ノルウェー	7,317	9.9	会計検査機関名		
4位	英国	6,936	9.3	国連会計検査委員会		
5位	オランダ	6,127	8.2	(Board of Auditors)		
上記の率及び順位は2005年のもの(プレッジベース)				(現在の構成員の出身国: )		
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
<p>国連においては、最近、人権分野への取組の重要性が特に高く認識され、様々な場面において「人権の主流化」概念の反映が進んでいる。これまで経済社会理事会の下部機関であった「人権委員会」は国連総会の下部機関としての「人権理事会」に格上げされ、OHCHRはその事務局機能も果たす等、益々重要性が高まっている。このような中で、OHCHRの国連通常予算からの配分が5年で倍増されることとなっている。</p>						
<p>合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価</p>						
<p>OHCHRは人権理事会や国連総会での議論を踏まえ、今後の更なる効率化及び合理化に向け機構改革努力を進めており、これらの努力については我が方としても認識している。但し、今後の能力強化のための組織拡大には、効率的な予算使用につき更に留意する必要がある。</p>						
邦人職員数 うち幹部以上	10 人 うち 0 人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率		639人 1.6%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
<p>これまでもOHCHRの幹部ポストへの邦人職員採用を強く働きかけてきたが、今後の大幅な組織拡大の予定に鑑み、更に積極的な働きかけを行っていく予定。</p>						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2003年～2005年)。